

風しん・麻しん風しん混合予防接種説明書・接種済証（19歳以上）

風しんとは

風しんウイルスによっておこる感染症です。主な症状は発しん・発熱・首のうしろのリンパ節の腫れなどです。潜伏期間（ウイルス感染後の無症状期間）は約2～3週間で、発しんの出る2～3日前から発しんが出た5日後くらいまで感染力があるといわれています。

妊娠初期の女性が風しんにかかると、お腹の赤ちゃんにウイルスが感染し先天性風しん症候群（心臓病・白内障・難聴など）の赤ちゃんが生まれる可能性があります。一緒に生活している家族からうつることが多いため、ご家族が風しんにかからないように予防接種を受けることが大切です。

麻しんとは

麻しんウイルスによっておこる感染症です。主な症状は発熱・咳・鼻汁・目やに・発しんなどです。約10～12日の潜伏期間（ウイルス感染後の無症状期間）のあとに症状が始めます。感染力がとても強い（インフルエンザより強い）ため、麻しんに対する免疫（抗体）を持たない人または免疫力の低い人に広く感染してしまいます。

予防接種の効果と副反応

ワクチンを接種することにより約95%の人に免疫が獲得されます。ただし、1回の予防接種で十分に免疫力が上がらない人や麻しん及び風しんに対する免疫力が次第に低くなる人もいます。麻しん及び風しんには特別な治療法はなく、対症療法のみとなるためワクチン接種による予防が大切です。

副反応としては、発しん、じんましん、紅斑、かゆみ、発熱などがみられることがあります。まれに重い副反応として、ショック、アナフィラキシー、血小板減少性紫斑症が報告されています

接種対象者

小山市に住所のある19歳以上で風しんの抗体検査により検査値が低値であると判明している方のうち、次のいずれかに該当する方

- ・ 妊娠を予定または希望している49歳以下の女性とその夫
- ・ 妊娠している女性の夫

接種したワクチンを○で囲む

風しん ・ 麻しん風しん混合 予防接種済証

接種年月日	年 月 日	ワクチンメーカー名
被接種者住所		Lot No.
被接種者氏名		実施場所
被接種者生年月日	年 月 日	医師名

予防接種を受けることができない人

- ① 明らかに発熱のある人（37.5 度以上）
- ② 重症な急性疾患にかかっている人
- ③ 今回接種するワクチンで、過去にアナフィラキシーを起こしたことがある人
※アナフィラキシーとは、接種後 30 分以内に顔が腫れる、全身にじんましんが出るなどのひどいアレルギー反応のことです。
- ④ 妊娠中または妊娠している可能性がある人
- ⑤ その他、医師が不適當な状態と判断した人

予防接種を受けるのに医師と相談しなくてはならない人

- ① 心臓血管系疾患、腎臓病、肝臓病や血液の病気などがある人
- ② これまでに免疫機能に異常があるといわれた人
- ③ 薬や食べ物でアレルギーがある人

予防接種を受けた後の注意

- ① 予防接種後 30 分間は、急な副反応が起こることがあります。医師とすぐに連絡を取れるようにしておきましょう。
- ② 接種後 2～3 週間は、副反応の出現に注意しましょう。
- ③ 接種当日の入浴は差し支えありませんが、接種部位をこすることはやめましょう。
- ④ 接種当日はいつもどおりの生活をしてかまいませんが、激しい運動や大量の飲酒は避けましょう。
- ⑤ 接種後 2 カ月間は妊娠しないように注意してください。

健康被害救済制度について

- ① 風しん又は麻しん風しん混合ワクチン接種を受けて健康被害が生じた場合には、独立行政法人医薬品医療機器総合機構（PMDA）による「医薬品副作用被害救済制度」に基づく救済の対象となります。
- ② 健康被害が補償の要件を満たした場合、医療手当、障害年金等が支給されます
※給付申請の必要が生じた場合には、診察した医師及び小山市健康増進課へご相談ください。

〒323-8686

栃木県小山市中央町1丁目1番1号

小山市役所 健康増進課 健康増進係

電話番号：0285-22-9526